

# 令和2年4月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

## 《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 麻しん検査診断例の報告が1件ありました。
- 感染性胃腸炎の報告が例年と比べて減少しています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈4月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
E型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
レジオネラ症	2件	梅毒	7件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1件	麻しん	1件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件	—	—

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O不明(無症状病原体保有者)の報告が1件ありました。
- 2 E型肝炎: 経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型1件、ポンティアック熱型1件の報告がありました。
- 4 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 5 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 60歳代のG群の報告が1件ありました。
- 6 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): AIDSの報告が2件、無症状病原体保有者の報告が1件ありました。いずれも男性で、感染経路は性的接触(同性間2件、同性間及び異性間1件)でした。
- 7 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴4回あり)、60歳代の報告が2件(いずれもワクチン接種歴なし)ありました。
- 8 梅毒: 7件報告(無症状病原体保有者3件、早期顕症梅毒 I 期2件、早期顕症梅毒 II 期1件、晩期顕症梅毒1件)がありました。感染経路は異性間性的接触4件、不明3件、性別は男性4件、女性3件でした。
- 9 麻しん: 感染経路感染地域等不明の10歳未満検査診断例1件(ワクチン接種歴1回)の報告がありました。

### ◇ 指定感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は神奈川県にて集約されています。  
神奈川県衛生研究所ホームページをご参照ください。

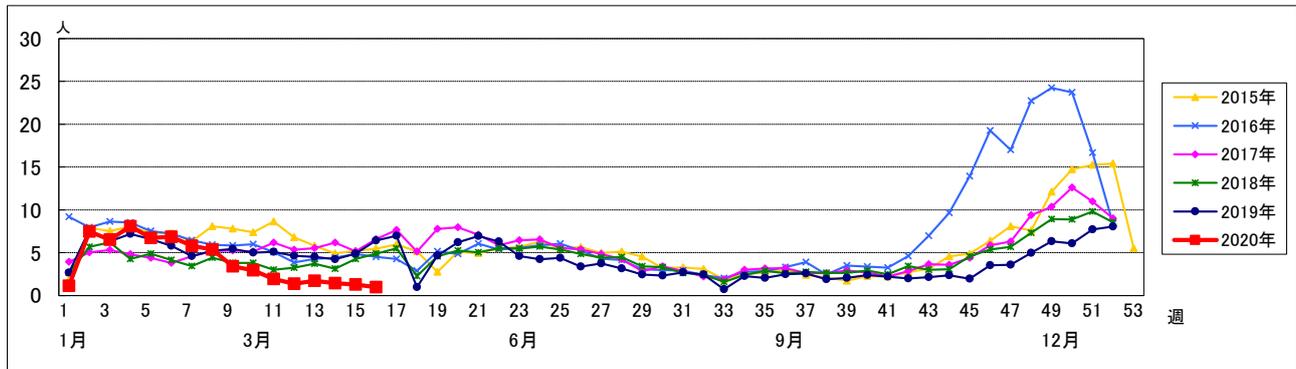
神奈川県衛生研究所感染症情報センター

[http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003\\_center/03\\_center\\_main.htm](http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm)

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第13週	3月23日～ 3月29日
第14週	3月30日～ 4月 5日
第15週	4月 6日～ 4月12日
第16週	4月13日～ 4月19日

1 感染性胃腸炎: 冬季に入って報告数が増加し第4週は8.08となっていました、その後減少し、第16週は0.96と少ない状況となっています。



2 性感染症(3月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:25件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 7件	女性: 8件
尖圭コンジローマ	男性: 1件	女性: 4件	淋菌感染症	男性:17件	女性: 1件

3 基幹定点週報

	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.67	0.33	1.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.33

4 基幹定点月報(3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/>